

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動学習支援教室 POMU		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ~ 2025年 3月 1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ~ 2025年 3月 1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内だけでなく、屋外での活動も多く取り入れたさまざまなことを経験できるようにしている。	主に長期休みにお出かけやお買い物、外食等の活動を取り入れ、公共でのマナーや、お金の支払い方などを学んだりする経験ができるようにしている。	引き続き、子ども達が主体的に活動に取り組める機会を多く作っていく。
2	視覚支援の充実	・日々のスケジュールや時間、おもちゃ等も片付け場所がわかるように視覚化している。 ・緊急時の掲示用ポスターについても、日ごろから目に着くところに、写真付で掲示している。	引き続き、子ども達の特性に応じたわかりやすい視覚支援の作成を進めていく。
3	児童指導員、教員、保育士、といった職員が療育にあたっている。	いろいろな視点から支援をおこなっていくことができる。	引き続き、研修等の機会を多く作り、支援に活かし、プログラムを充実させていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場に繋げられる取り組み	両親ともに就業されているご家庭も多く、保護者会などの開催が難しい。また保護者によっては交流を希望されていない家庭もある。	保護者のご希望等を聞きながら、機会があればイベントなども今後検討していく。
2	放課後児童クラブや児童館や、地域の他のこどもと活動する機会	地域交流を目的とした交流がなかなか持てていない。	今後は放課後児童クラブや児童館との交流の場も企画していきたい。
3	避難訓練の周知	避難訓練の実施については、予定表やSNSで伝えているが、参加者が限られていることもあり、周知が不十分な面もあった。	避難訓練の週を設け、参加者が限られないようにし、SNSを通して広く周知していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	運動・学習支援教室POMU
------	---------------

公表日 2025/3/18

利用児童数 37

回収数 27

		チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	93%	7%			子どもたちが大きくなると手狭かなと思います。	引き続き安全面には十分に配慮し、できる限り教室を広く使えるようおもちゃ等の収納を工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	96%	4%				法令に基づいた職員数を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	92%	4%		4%		お子様が視覚的にわかり易いような掲示物にしています。バリアフリー化については、必要に応じて検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					引き続き清潔で過ごしやすい空間を作るように配慮していきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					今後も継続していきます。子ども達の特性については職員間で共有し支援につなげていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					今後も継続していきます。また事業所のプログラムについては、HPに支援プログラムを公表しておりますのでご確認ください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					保護者様から日常の様子やご希望をお聞きしたり、事業所での様子をお伝えして、それをもとに個別支援計画を作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					今後も継続していきます。また気になる点がございましたら、いつでもお伝えいただくと幸いです。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					今後も継続して、支援計画書に沿った支援を行っていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	92%	4%		4%		職員間で相談し、プログラムが固定化されないように工夫してまいります。
保護者への説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	40%	15%	15%			必要に応じて、今後は、放課後児童クラブや児童館との交流の場を作って行きたいと考えております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					今後も継続して、契約時に説明して同意をいただくようにしております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					面接時に支援計画書を掲示しながら、支援目標や支援方法についてご説明させていただいております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	60%	11%	3%	26%		必要に応じて検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	100%					連絡帳にお子さまの様子を書いてお伝えしています。また送迎時にはその日の様子を口頭でお伝えしております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					年に2回モニタリングの際にお話しさせていただいております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					今後もお子さまやご家族にとってより良い支援ができるようにしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	26%	11%	19%	44%		必要に応じて検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	89%	4%		7%		職員一同、お子さまや保護者の皆様に気軽に相談していただけるような関係作りを心掛けております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	96%	4%			毎回の連絡帳を送迎時に情報共有でき安心しています。	今後も引き続き、連絡帳やメール等でお子さまの様子を伝え、情報共有をおこなっていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	89%	4%		7%	ホームページやSNSを楽しみにしています。	InstagramやFacebookで活動の様子を掲載させていただいております。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					引き続き、個人情報の秘密保持を徹底に厳守していくよう努めます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	81%			19%		緊急時の対応については契約時にご説明させていただいています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	81%			19%	定期的に防災訓練も行って頂きありがたいです。	引き続き、避難訓練は半年に1回、想定を変え実施していきます。保護者様にはわかりやすいようにInstagramなどでお伝えしています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	96%	4%		4%		今後も引き続き、お子さまの安全には十分に配慮し支援していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	89%			11%		引き続き、お子さまの怪我等には状況に応じてお電話、玄関先等でお伝えさせていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%				進学で環境が変わった時もPOMUという居場所があるおかげで落ち着いて過ごせたと思います。	安心できる場所になるよう、職員一同、1人ひとりのお子さまの気持ちに寄り添ってまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	93%	7%			いつも楽しみにしています。	引き続き、お子さまに、通所を楽しみにしていただけるようプログラムを工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					今後もお子さまやご家族にとってより良い支援ができるようにしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動・学習支援教室POMU			公表日	2025年3月18日
	チェック項目	はい	いいえ/どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		整理整頓を心掛け、子どもたちが活動しやすいスペースの確保に努めている。必要があればパーティションで仕切り個別スペースを確保するなど、お子様に合わせて対応しています。	継続していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		人員配置に関しては、法令に遵守しています。さまざまな特性を持っているお子様に対応できるように、児童指導員、教員、保育士等を配置しています。	継続していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		持ち物の置き場所など、視覚的にわかりやすいように掲示しています。子ども達の特性に配慮し、日ごろから非常事態が起こった時にもわかりやすい掲示物を貼っています。	継続していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃・消毒を行い、お子様が安心安全に過ごすことができるように配慮しています。	継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子様に落ち着かない様子が見られるなどその日の様子によって、パーティションで仕切り、個別スペースを作るなど、落ち着ける空間を設けて対応しています。	継続していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		打ち合わせの際、その日の利用状況を確認したり、起こった出来事に対して改善策や今後の対応、取り組みなどについても情報共有を常に意識して話し合う時間を設けています。	継続していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回、保護者様に事業所評価アンケートを実施し、把握を行い改善に努めています。	継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的なミーティングの中で日々の情報共有を行っています。	継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は第三者における外部評価は行っていません。保護者様から頂いたご意見や自己評価の結果をもとに業務改善を行っています	保護者様から頂いたご意見や自己評価の結果をもとに業務改善を行っています
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修にも積極的に受講しています。	継続していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員間で会議をおこない、支援プログラムの検討・作成をおこなっています。	継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		6か月に一度の定期面談、日ごろから保護者様からのニーズを聞き取りした上で、個々の課題を明確にするようにしています。	継続していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全体で会議を行い、支援内容を確認しながら意見を出し合っています。	継続していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援内容は職員全体で共有し、一貫性を持った支援にしています。	継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		検査機関などで行われた発達検査の結果等は保護者様に提出していただくようお願いしています。また、日々の子ども達の様子を細かく記録し、支援につなげています。	継続していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインのねらい及び支援内容を踏まえ、必要な項目設定と具体的な内容を設定しています。	継続していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは職員間で意見を出し合いながら立案を行うように努めています。	継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		繰り返し行うプログラムも大事にし、子ども達の特性や発達過程に応じて工夫した教材等を提供しています。学校休業日には季節に合わせた行事など様々な活動を実施しています。	職員間で積極的に意見を出し合うようにし、プログラムの幅を広げていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を含めた目標設定を行い、1人1人に合わせた個別活動・集団活動の充実を図るよう努めています。	継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前にミーティングを行い、その日の職員に支援内容を詳しく確認をしていきます。	継続していきます。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後には振り返りを行い、情報共有を行っています。時間を取れない場合には、翌日に振り返りを行っています。	継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		担当者が日誌に記録し、支援後の振り返りで追加や修正を行い改善に努めています。次の支援前に再度確認し共有しています。	継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に1回モニタリングを行い、担当者間で放課後等デイサービスの見直しを行っています。	継続していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		創作活動、自立支援など、総合的な支援が行えるように努めています。	継続していきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		お子様の意思を確認しながら過ごせるように支援をおこなっています。	継続していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			必要に応じてサービス担当者会議への参加も検討します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		同じ法人内の保育園と連携して支援を行える体制にしています。	地域の保健、医療に関しては、必要に応じて検討していきま
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者様を介して連絡を取っています。送迎時に学校と情報共有しています。	必要に応じて電話連絡で情報共有、連絡調整をおこなっていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			必要に応じて関係機関、担当者と情報交換し、連携をおこなっていくよう検討していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修や情報交換の案内があるため、今後参加できるような体制を整えています。	必要に応じて検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	○			今後は、放課後児童クラブや児童館との交流も積極的に検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			必要に応じて検討していきます。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回利用時には連絡帳を通して保護者様と情報提供を行い、情報共有ができるよう努めています。	継続していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ペアレントトレーニングを専門的に学んでいるスタッフが配置していないため支援は行えていません。必要に応じて今後検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始前には個別に説明を行っています。	継続していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画書作成前には個別面談を行い、子どもや保護者様の意向の確認を行っています	継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		子どもや保護者様の希望や要望を十分に汲み取って子どもの状態に応じた放課後等デイサービス計画書を作成し、保護者様に同意を得てサインを頂いています。	継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談やモニタリング時に相談の時間を設けています。また希望に応じてメールや電話等で相談を受けています。	モニタリング時以外にも、保護者様にお子さまのことについて気軽に相談してもらえるような環境作りに努めています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○			現在、保護者会など開催しておりません。今後必要に応じて検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に苦情受け入れ体制についての説明を行っています。苦情についてはできる限り迅速に対応できるようにしています。	継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		SNS等を用いて活動の様子を発信しています。特別な行事があるときにはメール等でお知らせしています。	継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に説明を行い、同意書にサインを頂いています。個人情報記載してあるものに関しては保管場所を取り決め徹底しています。	継続していきます。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々の発達や障害特性に合わせて、コミュニケーションの取り方など工夫しています。	継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域との交流活動は行っていませんが、必要に応じて今後検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定しています。保護者への周知が不十分な面もあるため、より安心していただけるように保護者への周知に努めていきたいと思えます。	継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		様々な状況を想定した訓練を定期的に行っています。臨機応変に対応できるように努めていきたいと思えます。	継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始前に、保護者様に聞き取った上、書面で提出していただき確認しています。	継続していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様に伺い、食物アレルギーに関しては、原因となるものを食べさせることがないように留意しています。	継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づき、安全管理に努めています。	継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		利用児童の発達段階に合わせた安全指導を行えるように配慮しています。安全計画及び安全に関する取り組みについてはSNS等を通して保護者等に周知していきます。	継続していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例があれば、記録し職員間で共有しています。	継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、職員間での周知や研修を行っています。	継続していきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束的適正化委員会を設置し職員間での周知や研修をおこなっています。やむを得ず身体拘束が必要な場合に対応できるよう組織的に動く準備ができています。	継続していきます。	